

事業所名

HOPE加古川（放課後等デイサービス）

## 支援プログラム

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念		発達障がいなどの困難を抱えた子どもに愛情を持って、誠実に寄り添い、本人が普段感じている「生きづらさ」と向き合い、それを軽減するための最善の方法を自らはもちろんチームで考え、関係者や保護者とも連携し実行します。また、利用者の安全確保と法令順守に努めます。						
支援方針		本人が将来、希望（HOPE）をもって社会参加・自律ができるように成長の手助けを行います。その仕事を通じた過程において私たちスタッフも成長を目指します。利用者の将来が明るい方向に向かうことにより、家族の未来、地域の未来も明るくなります。利用者の喜びは私たちHOPEスタッフの喜びであり、HOPEが存在し、継続・発展する証となります。						
営業時間		平日	12時	30分から	19時	30分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
		土曜	11時	30分から	18時	30分まで		
支援内容								
本人支援	健康・生活	健康的な日常生活を心掛けることの大切さに気付くことが出来るように、入所時の決まりごとの「挨拶・手洗い・うがい・検温」を職員が見守りながら習慣化を図ります。活動終了時には片付けや整理整頓等を行い、自己管理できるように促していきます。個々の特性や状況に応じて個別の目標を定め、無理なく進めていきます。						
	運動・感覚	身体をリラックスさせたり、ラジオ体操や体幹トレーニング、近くの公園での外遊び等の時間を作ります。また、クッキングや遊びを通して手指の感覚向上を図ります。						
	認知・行動	学校での学習等の困りごとを把握し、理解不足を補ったり反復練習を課したりしながら、認知機能・行動の改善・定着を図ります。達成感や自己肯定感が持てるように、過程を大切に取り組みを見守ります。わからないときや困った場面で、質問したり助けを求めたりできるように信頼関係を構築します。						
	言語 コミュニケーション	学校や家庭での出来事を話したり書いたりする課題や近くの市立図書館で本に触れる機会を設けます。発達段階に応じて言語・コミュニケーション能力の向上を図る練習を無理なく進めます。周りのお友だちと何をして遊ぶかを相談して決めたりしながら決断力や楽しくコミュニケーションがとれるよう取り組みます。						
	人間関係 社会性	周りの状況を判断する、して良い事、悪い事、困った時にはどうしたらいいか、など自立していくうえで身につけておくべき事を個々の特性に応じてSSTに組み込みます。土曜日の体験活動では、クッキング・遠足などを行い、非日常的な体験や日頃出会うことの少ない人たちとの出会いを通して行動範囲を広げたり、公共施設や交通機関の利用に慣れたりできるようにします。海岸のゴミ拾などの奉仕活動を行いSDGsの理解を深めます。役割分担を決め、集団活動を通して他者の様子から学ぶ機会を捉えて支援します。						
家族支援		毎年、保護者会を行っています。保護者からの要望をお聞きしたり、事業所での活動の様子をお知らせしたり、情報の共有化を図ります。本人の気持ちを大切にしながら、困りごとについて共に考えます。				移行支援	他事業所や家庭学校での活動の様子を把握し、スムーズに学校生活が送れるように学校と連携を図ります。進級、進学に備えて準備を整える補助的な役割を担います。	
地域支援・地域連携		担当者会議などを定期的に行い、職員の共通理解のもと関係機関と連携を保ちながらより良き支援を心掛けます。				職員の質の向上	法人の理念の理解と実践や、本人の気持ちに寄り添った支援ができるように、定期的に研修を行い個々の情報を共有し、支援の在り方について検討します。	
主な行事等		避難訓練・伝統行事を楽しむ会・遠足・クッキング・HOPE農園での農業体験や収穫						